

## ■調布・木島平交流クラブ総会が行われました

5月11日(木)調布市文化会館において、調布・木島平交流クラブ総会が行われ、藤原会長と小林副会長が来賓として出席しました。

調布・木島平交流クラブとは、同じ木島平村を応援する団体として、協力・連携していくことを確認しており、当日も、両会の協力・連携に向けて交流を図りました。

なお、6月3日に開催される本会の総会にも、交流クラブの役員が出席して更に交流を深める予定です。



## ■お田植えまつり開催

5月28日(日)午前10時から、木島平中学校下の田んぼで、「お田植えまつり」が開催されます。

当日は、早乙女による田植えや、子どもどろんこあそびなど、イベント盛りだくさんです。

都合のつく方はぜひお越しください。



## ■深大寺 お田植えの儀

5月27日(土)午後2時30分から、東京都調布市深大寺の境内において、木島平米お田植えの儀を執り行います。

これは、姉妹都市調布市の皆様や、深大寺への参拝客の皆様幅広く木島平米をPRすることを目的に行っているものであり、今回植えられた苗は秋の「稲刈りの儀」まで深大寺境内で大切に育てられます。

当日は、参道を早乙女が練り歩いた後(写真)、日基村長、張堂住職、早乙女による田植えを行います。

また、木島平村の特産品の販売も行いますので、お近くの方はぜひお越しください。



### 会報原稿募集中!

【毎月5日までに左記へご送付ください。】

【送付先】〒389 2392 木島平村役場内 ふるさと応援団事務局

FAX 0269 824121

✉ seisaku@vill.kijimadaira.lg.jp

# 住み慣れた地域で、 いつまでも元気で自分らしく

埼玉県さいたま市 寶井 護（北嶋出身）

健康寿命も過ぎようとする年齢まで生きて、今、少子高齢化が深刻な課題となる中、長患いしないでぴんころりと亡くなりたいと強く思うようになりました。

平成27年4月に介護保険制度が改正されて、高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう、地域の特性に応じた「地域包括ケアシステム」を構築する政策が始まっています。これに伴い国は、特別養護老人ホームへの入所者を要介護3以上に制限しましたが、その結果、2割以上の施設に空きがあるとみられ、入所政策の見直し論が起きています。

私が住むさいたま市では、平成29年4月から「介護予防・日常生活支援総合事業」がスタートしました。

65歳以上のすべての方を対象に効果的な介護予防を進め、社会参加を支援する「一般介護予防事業①」と、生活機能の低下がみられる方などを対象として、日常生活の支援をする「介護予防・生活支援サービス事業②」を実施します。

①については、「生きがい健康づくり教室」「すこやか運動教室」など、身近な場所で地域の人が主体的になって実施していくことが求められています。

②については、基本チェックリストによる要介護（要支援）認定を行い、短時間でケアプランを作成し、訪問型・通所型サービスの提供が可能となっています。

私が住む自治会では、平成27年5月から高齢者を対象とする「内野本郷 森と風のサロン」を立ち上げ、これまで20回開催しましたが、延べ1,961名が参加しています。

また、「週間 女性自身 平成29年4月11日号」で、「介護に優しい街ランキング！」が紹介され、さいたま市西区は全国で第3位となり、介護老人福祉施設と介護老人保健施設の多いことがわかりました。

しかしこれからも、施設入所をしないで元気に健康で暮らしたいと願っています。